



令和2年 5月 11日 発行

学校だより 5月 356号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawanishi/>

正しい知識と新しい社会へ

学校長 稲葉 靖

横浜市立の全ての学校が、5月31日(日)までの一斉臨時休校の期間延長となりました。

連日、新型コロナウイルスの感染拡大とその影響や防止策についてのニュースが報じられていますが、一方で、医療・物流関係者への感謝の気持ちを届ける行動やスポーツ選手、有名芸能人の心温まる動画配信など、勇気や元気を届けるメッセージが世界中を包んでいます。4月29日の朝刊には「南区の町内会が575世帯にマスク」とあり、多くの人がそれぞれでできることを、その人らしく表現している姿に「自分も頑張らなくては」と、励まされます。

自粛期間や休業期間が長期化することで、生活にさまざまな影響が生じ、ストレスを感じている方も多くいらっしゃると思います。

この期間、大人も子どもも不安になるのは当然のことだと思います。不安な気持ちを受け入れ、公的機関の正確な情報を確認し、

うわさや不確かな情報に惑わされない「正しい知識」を身に付けてもらいたいと願っています。

新型コロナウイルスの感染を防ぐために必要なのは、換気の悪い密閉空間や人との接触、近距離での会話や発声を減らすことと言われています。

これまで、学校で良いとされてきた「大きい声で元気な挨拶」は、「相手の顔を見て笑顔で会釈」の方がよくなる場面もあるでしょう。もちろん、マスクの着用や手洗いの徹底は、自分の健康保持だけでなく、他の人への気遣いにもつながります。

新しい価値観を伴った生活スタイルが求められています。ご家庭への大きな負担をもうしばらくおかけすることになりますが、1日も早い学校再開と、その後のお子様の安心した登校を支えるご準備に向けて、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

健康面、生活面について特に次の点に留意して過ごせるよう、お子様ともご確認ください。

- 毎朝、検温、健康チェックを行い記録すること
- 新型コロナウイルス感染症と診断された場合（関係機関から濃厚接触者として経過観察を指示された場合も含む）、発熱等の風邪の症状で受診した場合は保護者から学校に報告すること
- 不要不急の外出は控え、密閉空間、密集場所、密接場面は避けること
- 心身の健康のために適度に体を動かすことも大切であること
- 公園等を利用する時は、その場所のルールやマナーを考えること
- TV、ゲーム、パソコン等を利用する場合には時間を決めること
- 困ったことがあれば、すぐに身近な大人に相談すること
- 緊急時には、連絡ができるようにしておくこと
- 先生やカウンセラーは休業中も学校にいますので、不安や心配がある場合は、学校に連絡すること

